

昭和  
100年  
1926—2026



| 企画展 |

満洲吉林省下金馬開拓団(1941年頃)

# 遠すぎたふるさと

大陸で敗戦を  
迎えた女性たち

*A Hometown  
Too Far*

2026

6/30(火) - 9/27(日)

前期：6月30日(火) - 8月16日(日)

後期：8月18日(火) - 9月27日(日)

開館時間：9時30分～17時30分 (入館は17時まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、

7月21日(火)、9月24日(木)

入館無料

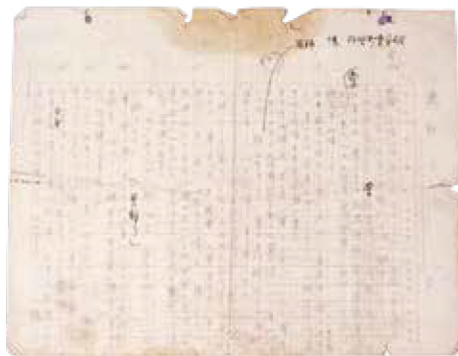


帰還者  
たちの  
記憶  
ジウム

MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES  
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES  
平和祈念展示資料館 [総務省委託]



結婚し、満洲へ(1939年)



避難日記



救護員制服

かつて、多くの女性たちが大陸へと渡りました。新天地に希望を託し、開拓団員の妻となるべく「大陸の花嫁」として。あるいは、負傷兵を救う使命を帯びた「従軍看護婦」として。

しかし敗戦により、彼女たちの運命は暗転します。ソ連領内への抑留、中国での留用、収容所での避難民生活など、異国の地で残留を余儀なくされ、苦渋に満ちた戦後を生きることになりました。

本展では、彼女たちが歩んだ帰還までの過酷な道のりとその後を取り上げます。いつの時代も戦争は、直接的な暴力にとどまらず、社会に潜在する格差や序列、差別といった「構造的な暴力」を噴出させてきました。

昭和100年を迎える今、戦争の時代を生きた女性たちの声なき声を拾いあつめ、幾多の暴力に抗い生き抜こうとしたその生命の尊厳を、現代にも通じる普遍的なテーマとして見つめます。



## 関連イベント [予約不要 参加無料]

都合によりプログラムが変更になる場合がございます。ご来館の前に当館ホームページでご確認ください。先着入場順で満席になり次第、ご案内を終了いたします。

### 一人芝居

7月19日(日) 14:00～(約40分) 「生き地獄から戻った私!」

出演：瀬田ひろ美(劇団キンダースペース) 演出：原田一樹(劇団キンダースペース) 原作：苗村富子(労苦体験手記『平和の礎』所収)

7月20日(月・祝) 14:00～(約40分) 「花模様の着物を着て逝った芳子」

出演：榊原奈緒子(劇団キンダースペース) 演出：原田一樹(劇団キンダースペース) 原作：大島一恵(労苦体験手記『平和の礎』所収)

上映、トークイベント トークイベントの前後に映像の上映を行います。(各日 ①11:00～ ②15:15～)

7月25日(土) 14:00～(約60分)

トークイベント「尊厳をかけて証言を残した女性たち」 松原文枝(映画「黒川の女たち」監督)

「黒川の女たち」(99分) 監督：松原文枝 語り：大竹しのぶ 配給：太秦 2025年 ©テレビ朝日

8月23日(日) 14:00～(約60分)

トークイベント「忘れえぬ人たち～「残留婦人」との出会いから～」 神田さち子(俳優)

「神田さち子ひとり芝居 ～帰ってきたおばあさん～」(95分) 主演：神田さち子 演出・上演台本：杉山義法 原作：良永勢伊子 [2005年9月銀座博品館劇場収録] ©神田さち子後援会

講演会 9月6日(日) 14:00～(約60分) 「満蒙開拓の史実と記憶の継承」 寺沢秀文(満蒙開拓平和記念館館長)

ギャラリートーク 7月18日(土)、8月22日(土)、9月20日(日) 各日13:00～(30分程度)



東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル33階  
Tel. 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>

@heiwakinen

- ▶ 都営大江戸線(都庁前) 駅A6出口より徒歩約1分
- ▶ 東京メトロ丸ノ内線(西新宿) 駅より徒歩約5分
- ▶ JR線、小田急線、京王線(新宿) 駅西口より徒歩約10分



帰還者の  
 記憶の  
 ミュージアム  
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES  
 IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES  
 平和祈念展示資料館(総務省委託)